

H30年度広瀬川創生プラン 取組事業一覧

基本目標	施策の方向	No.	取組事業	内容	担当
i 協働の 仕組みづくり	① 広瀬川に関する 市民参加型事業の推進	1	市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める(広瀬川創生室による創生プランの推進)。	建設局河川課
		2	市民協働・広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の仕組みの検討	市民協働の推進基盤となる広瀬川市民会議の組織体制および広瀬川市民協働基金(ファンド)の在り方を検討する。	協議会
	② 市民協働による 河川施策の推進と 市民活動の促進	3	河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見た適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者へ啓発活動を実施する。	仙台河川国道事務所
		4	広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるよう組織を拡充する。	広瀬川市民会議
		5	広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。	広瀬川市民会議
	③ 実効的関連計画の実現	6	広瀬川創生プランにおける 重点事業の実施と進捗管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進捗管理する。	協議会
	④ 流域間住民の交流促進	7	広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。	建設局河川課
ii 親水性の 向上	⑤ 広瀬川の魅力と 自然を生かした 親水ゾーンの設置と活用	8	親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。	広瀬川市民会議 事業実施:仙台市
		9	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。	建設局公園課
		10	西公園再整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。	建設局公園課
		11	河川公園整備・維持管理	河川公園の整備・維持管理を行います。	建設局公園課
		12	電動スクーターの貸出し	広瀬川の一部に、車いすで近づける空間を創出し、障がいのある人や高齢者など誰もが河川空間の自然を楽しめるような取組を検討する。	NPO (CILたすけつと)
		59	せんだいセントラルパーク構想	社の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や「5つの楽しみ方」 佇むビジュアル・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン」を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。市民が担い手となる持続可能な【せんだいセントラルパークマネジメント】を検証するため実態調査フィールドワークや社会実験を行う。こうした市民発意の行動を踏まえた政策提言や行政計画の調整等により市民協働のまちづくりを実践する。	NPO(都市デザインワークス)
		73	伊達な川床	伊達政宗公生誕450年を契機として、ミズベリング・プロジェクトで集った官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることができる名所とする。	NPO(都市デザインワークス)
		78	大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんだいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、都市生活や活動の拠点(パークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることができる名所とする。かわまちづくり計画の策案づくりも検討する。(せんだいセントラルパーク構想の推進)	NPO(都市デザインワークス)
iii 治水・利水の 安定	⑥ 限りある水資源の 有効な利活用	13	六・七郷堰非かんがい期 通水事業	六・七郷堰の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かんがい期通水事業を継続する。	建設局河川課
		14	広瀬川及び旧荒川 環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。	仙台河川国道事務所
		15	緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。(H9年から実施)	仙台河川国道事務所
		16	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要箇所順次対応する。(H20年より橋から愛宕大橋上流のまでの県管理区間で実施中)	仙台河川国道事務所、 仙台土木事務所
		17	中洲・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。	仙台土木事務所
		18	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰から利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。	経済局農林土木課
	⑦ 治水・利水に関する 合意形成システムの構築	19	仙台地域水循環協議会	H11年9月に市、県、国の機関による協議会を組織した。今後周辺状況の変化等によりさらに流域的な視野で望ましい水循環系の構築を進める必要が生じた際に協議会を開催していく。	仙台河川国道事務所
		20	広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づいた適正管理を実施しつつ、今後、周辺状況の変化等により環境管理についてさらに検討する必要がある際に協議会を開催する。	仙台土木事務所
	⑧ 河川は市民共有財産 という認識の定着	21	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施)	仙台河川国道事務所 仙台土木事務所
	iv 河川環境の 保全と向上	⑨ 現状把握の推進	22	水質調査	広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を排水基準により調査し、その結果に基づいて指導する。(S46年から実施)
23			底質調査	公共用水域における底質(泥)の実態を把握するための調査を実施する。(S47年から実施)	環境局環境対策課
24			水生生物調査	水生生物の棲息状況により、長期的・平均的な水質の状況を把握するとともに、水質保全に関する啓発活動を行う。(H5年から実施)	環境局環境対策課
25			河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う(広瀬橋から上流までの県管理区間はH20年に実施。広瀬橋から河口部までの国管理区間はH2年から実施)。	仙台河川国道事務所
26			広瀬川の生き物観察会	親子対象の生き物観察会を実施する。(NPOなどが取組みを継続中)	NPO(各団体、市民Oなど)
27			「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。	NPO(みやぎ・環境とくらし・ネットワーク)
28			広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。(H14年から実施) (参加企業一覧はこちら)	NPO(広瀬川1万人プロジェクト実行委員会、事務局:市民会議)
⑩ 広瀬川流域の 保全		29	みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。(H15年4月から実施)	仙台土木事務所
		30	天水桶手づくり講座	身近な材料を利用した天水桶の作製と雨水利用等について学ぶ講座を開催する。(H8年から実施)	環境局環境対策課
		31	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。(緑化木交付はS55年から、緑化助成はH14年から実施)	建設局河川課
		32	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	都市化が進む宮城処理区の公衆衛生の向上及び広瀬川の水質保全を図るために、公共下水道を整備する。(H元年から実施)	建設局下水道計画課
		33	合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。	建設局下水道計画課
		34	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。(H16年から実施)	建設局下水道調整課
		36	仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。	建設局河川課
⑪ 広瀬川魚資源の 保全	37	クリーンアップ広瀬川	カヌーによる河川清掃を実施するもの。(H10年から実施)	NPO(仙台市カヌー協会)	
	38	地域団体・NPO等 による清掃活動	地域団体やNPO等による清掃活動を実施する。	NPO (各種NPO、河川愛護会、公園愛護協力会など)	
	39	広瀬・名取川水系さけます 増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。(実施中)	経済局農政企画課	
	40	淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」への補助を行う。(実施中)	経済局農政企画課	
	41	ふ化及び稚魚放流事業	小学校や市民センター等と連携し、孵化および飼育のサポートや稚魚放流会への協力を行う。(継続して実施中)	NPO(各団体、市民Oなど)	

H30年度広瀬川創生プラン 取組事業一覧

基本目標	施策の方向	No.	取組事業	内容	担当
v 河川への 関心の高揚	⑬ 河川への積極的関与・関心の喚起	42	広瀬川で遊ぼう	広瀬川への関心を高めるために、5月の連休期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する(H18年から実施)。H29年度は、過去最高の来場者があり、市民に対する認知度が高まっている。	NPO(事務局:市民会議)
		43	広瀬川流域のまち歩き	広瀬川の流域を歩いて、魅力の再発見をしてもらう。	行政、NPO
		46	総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力を行う。(各行政機関で随時実施)	教育局科学館
		47	市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関わる事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。	建設局河川課
		48	作並かつぱ祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。(H20年から実施)	NPO(事務局:市民会議)
		49	「広瀬川の日・広瀬川週間」の設定	「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなんで、9月の最終土曜日を「広瀬川の日」と定め、清掃活動をはじめとした様々な事業展開により啓発する。	広瀬川市民会議
		50	レスキュー講習会	川(流水のなか)で活動するひとを対象とし、水難事故にあわないための実践講習を行なうもの。	NPO(仙台市カヌー協会)
		51	広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	広瀬川をカヌーでツーリングすること、そのための基本的カヌー操作のためのレッスンを行なうもの。	NPO(仙台市カヌー協会)
		52	市民総体「ダウンリバー大会」	三居沢から角五郎までをカヌーで漕ぎくぐり、タイムを競う市民総体を開催するもの。	NPO(仙台市カヌー協会)
		53	広瀬川灯ろう流し・光と水とコンサートの日	夏の風物詩としての祖先や死者を供養する灯ろう流しや、花火大会・コンサートなどを実施する。(H2年から現在の内容で実施している)	NPO(広瀬川灯ろう流し実行委員会)
		54	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)	19年ぶりに復活した貸しボート運営をきっかけとして、市民の川への関心を喚起する(平成21年8月から実施)。広瀬川宮沢緑地公園で開催されるイベント等への参加依頼があり、積極的に参加し地域の活性化も図っている。	NPO(広瀬川ボートくらぶ)
		55	政宗さんの川狩り	伊達政宗公が愛した広瀬川のアユを、市民自ら川に入って捕まえ、炭焼きにして食べる、体験から環境保全へ繋げる事業を実施する(H12年から実施)。平成27年からは「政宗さんの川狩り〜秋の陣〜と称して、サケのつかみ取り、サケ汁等を味わう体験型事業も合わせて実施する。(広瀬・名取川漁協の協力を得て実施)	NPO(広瀬川の清流を守る会)
		57	六・七郷堀サポーターズ	若林区の地域資源である六郷堀・七郷堀の魅力を発信するため、市民有志団体が散策イベントや啓発活動を実施する。(H18年度から実施)	若林区まちづくり推進課
		58	「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを調査・発信する(H20年から実施)。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。	NPO(みやぎ・環境とくらし・ネットワーク)
		61	広瀬川源流探索	広瀬川の本流や支流の源を探索し、魅力を発見して発信する。	NPO(水ネット)
		72	定例探鳥会の実施	広瀬川大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を毎月第1日曜日に開催。千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に実施。	日本野鳥の会 宮城県支部
		77	水辺で乾杯	日本の水辺の新しい活用の可能性を創造していく全国的なプロジェクト「ミズベリング」のイベントの1つである、7月7日午後7時7分に世界の水辺で同時に乾杯するアクションに賛同し、広瀬川広瀬橋や大橋周辺の水辺でも、みんなで乾杯をする。	NPO(広瀬川の清流を守る会、都市デザインワークス)、広瀬川市民会議
	⑭ 市民への情報発信	62	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。(H2年から現在の場所で実施)	教育局科学館
		63	広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・計画・インタビュー・研究レポート・掲示板など、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。(H15年に開設)	建設局河川課
		64	観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行こう」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。	建設局河川課
		65	広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。	片平市民センターなど
		66	広瀬川何でも相談室	河川法・規則・条例を順守し適正な市民利用を啓発するために、広瀬川全域に関する河川利用・環境・維持管理・マナー遵守などについて、休日・夜間を問わず、電話およびホームページ・メール等で一元的に受け付ける窓口を設置する(H13年より実施)	NPO(広瀬川の清流を守る会)
		67	仙台ガラスプロジェクト	社の都・仙台を流れる川の砂を溶かしたガラスでベーシックなテーブルウェアを製造・販売する。2010年から継続して実施、仙台市内で販売店も着実に増加し、2013年にはグッドデザイン賞を受賞した。また、2016年3月にOMOTENASHI SELECTION(OMOTENASHI NIPPON主催)を受賞した。	NPO(仙台ガラスプロジェクト)
		68	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米「蔵の華」で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。	NPO(森民酒造・及川酒店)
		⑮ 理念の共有化の促進	69	広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。
	70		広瀬川中流域景観まちづくり協議会	広瀬川を取り巻くまち並み(川並み)、歴史的景観、心の景観(ふるさとの景観)を活かした都市づくりの研究ならびに提案を行う。	NPO(水ネット)
	vi 森林の保全	⑮ 源流部の現状把握と森林保全	71	自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する(H16年から実施)。